

BBLセミナー コメント資料

2021年4月7日

「モンゴル国前国家開発庁長官が語る『長期ビジョン2050』
と日本への期待」

コメント資料

小野寺 修

(経済産業省通商政策局通商交渉官 / RIETIコンサルティングフェロー)

<https://www.rieti.go.jp/jp/index.html>



モンゴルについて

- モンゴルは、広大な国土に恵まれた中国とロシアに挟まれた内陸国。
- 旧社会主義/計画経済国から、1990年に民主主義/市場経済国へ。
- 2021年1月、オヨンエルデネ首相が新しく就任。
- 石炭、銅等の豊富な地下資源に恵まれており、輸出品の約7割を鉱物資源が占める。また、輸出総額に占める中国のシェアは約7割。
- 2020年5月、モンゴルの開発ロードマップとなる「長期ビジョン2050」を策定。



- 国土：156万4,100km²（日本の約4倍）
- 人口：約330万人（約95%がモンゴル民族）
- GDP：約139億ドル（一人あたり4,294.1ドル）

経済データ（2020年：モンゴル国家統計局）

■ 貿易額

輸出：約76億ドル（鉱物資源（石炭、銅精鉱、蛍石など）、原油、牧畜産品（カシミア、皮革））

輸入：約53億ドル（石油燃料、自動車、機械設備類、日用品）

■ 主要貿易相手国

輸出：中国（73%）スイス（22%）シンガポール（2%）イギリス（1.1%）ロシア（0.8%）日本（0.1%）米国（0.1%）

輸入：中国（36%）ロシア（26%）日本（8%）米国（5%）

「長期ビジョン2050」

■ 経済の多角化と工業化を通じて、消費国から製造国へ、輸入国から輸出国への大変貌を遂げる。

■ 1人当たりGDPを2050年までに38,000ドルまで引き上げる。

■ 長期ビジョン 9つの目標

1.国民の共通価値構築、2.人間開発、3.生活水準の向上、4.多角的な経済構造、5.ガバナンス向上、6.グリーン開発、7.安全安心社会の構築、8.地方再生、9.スマート都市開発

日モンゴル経済関係

- モンゴルにとって日本は、「第三の隣国」として最初に戦略的パートナーシップを構築した重要な国、2017年3月には「戦略的パートナーシップのための中期行動計画」が策定された。
- 2016年、双方向の貿易を促進すべく、日モEPAが発効。モンゴル初の自由貿易協定。
- 2007年より、日本経産省・モンゴル外務省の副大臣級で、官民合同協議会を実施。

<参考1> 中期行動計画（2017-2021年）

- ①政治・安全保障分野、②経済分野（投資・ビジネス環境の整備、経済の多角化、より活力ある経済関係の構築）、③文化・人的交流での協力を進め、各分野での一層の互惠関係を目指していく。
- IMFの財政支援プログラムに基づき経済、財政の立て直しを行うモンゴルに可能な限り協力する。

<参考3> 日モンゴルEPA（2015年署名、2016年発効）

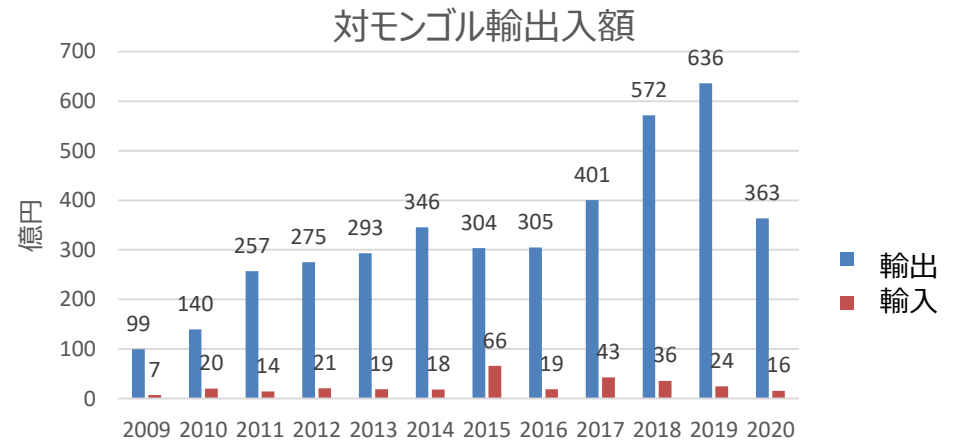
モンゴル市場へのアクセス

日本からモンゴルへの無税輸出の割合が、現状の総輸出額の1%未満から、発効後即時に約50%、10年間で約96%まで拡大

日本市場へのアクセス

- ◆ 鉱工業品
ほぼ全ての品目について即時関税撤廃又は10年以内の段階的関税撤廃
- ◆ 農林水産品
 - 一部の牛肉調製品等：関税割当（現時点で輸入実績なし）
 - ペットフード：即時関税撤廃又は10年以内の段階的関税撤廃（同上）

<参考2> 日モンゴル貿易関係



出所：財務省貿易統計

<参考4> 日モンゴル官民合同協議会

- 2007年、日本・モンゴルの両国首脳間で合意した共同声明及び今後10年の基本行動計画に基づき、貿易・投資の拡大と協力関係の強化を目指して設置された定期協議会。
- 両国で交互に開催しており、これまで9回開催。次回はモンゴルで開催予定。

バヤルサイハン前長官のプレゼンテーションへのコメント

- 包摂的 (Inclusive) 成長の重要性 → 単一部門 (鉱業) への依存からの脱却

新ウランバートル国際空港の活用

- 円借款により建設・完工。(総額657億円、2017年10月完工・引渡完了)
- 日本連合 (三菱商事・成田国際空港・日本空港ビルデング・JALUXの4社) が運営。
- 自然資源・多様な文化を活用した観光産業の育成



農産品・畜産加工の活用

- 消費者ニーズ・ウォンツの発掘 / 品質改善 (企業間のウィンウインの連携)
(参考: JICA農牧畜バリューチェーンマスタープラン (2020-23))
- 観光産業との連携 (ストーリーの重要性)

I T 産業など新産業の育成

- 内陸国としてのハンディキャップを克服
- 親日的で、理数系の能力の高い、日本語人材
 - ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト2019
モンゴル科学技術大学準優勝(京大(日本)を抑えて)
 - 2019年度全国ディープリンングコンテスト最優秀賞 (長岡高専のモンゴル留学生) による起業 (IntegrAI社)
 - Dentsu Data Artist Mongolなど



ビジネス開発・人材がカギ

- モンゴル人留学生 (3000人超) ・帰国留学生の会JUGAMO
- 日本式高専3校 / モンゴル人材開発センター

